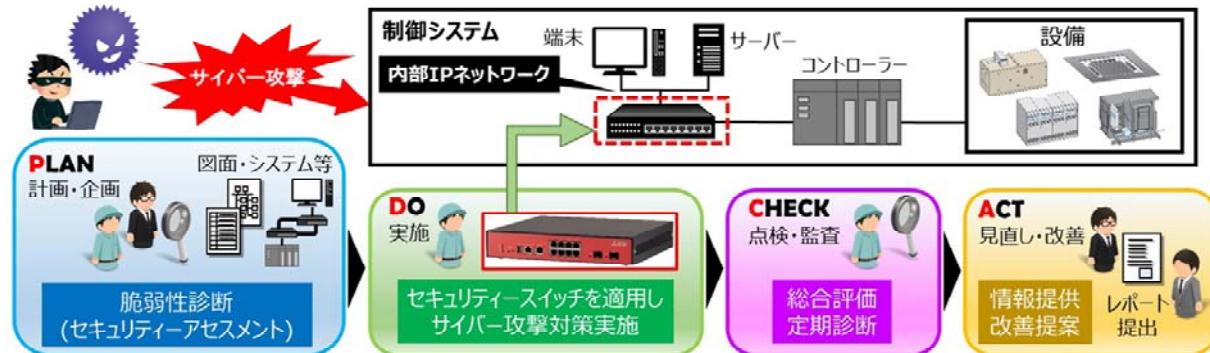


NEWS RELEASE

脆弱性診断から改善提案までワンストップで対応し、セキュリティー対策を継続的に支援
三菱電機サイバーセキュリティーソリューション「OTGUARD®」提供開始

三菱電機株式会社は、公共施設・オフィスビル・データセンターなどの制御システム向けにサイバーセキュリティーソリューション「OTGUARD®（オオティガード）」を7月2日に提供開始します。脆弱性診断（セキュリティーアセスメント）に基づくセキュリティー対策の立案からシステム導入、運用・管理支援、改善提案までワンストップで対応し、深刻化する制御システムへのサイバー攻撃に対するセキュリティー対策を継続的に支援します。



三菱電機サイバーセキュリティーソリューション「OTGUARD®」の概要

OTGUARD®の特長**1. OT・ITを活用した脆弱性診断により、サイバー攻撃のリスクを見る化**

- 重要インフラをはじめ数多くの制御システム構築や保守サービスで培ったOT・IT^{*1}を活用した脆弱性診断により、サイバー攻撃のリスクを見る化
- 診断結果に基づきお客様のニーズに合わせたPDCAサイクルを構築し、ワンストップで継続的な対策を支援

*1 OT : 制御技術 (Operation Technology)、IT : 情報技術 (Information Technology)

2. サイバー攻撃の検知と遮断を一体で行う当社独自のセキュリティースイッチにより、強固なセキュリティー対策を実現

- 独自開発の「セキュリティースイッチ^{*2}」により、サイバー攻撃を検知し遮断
- 新規だけでなく既存の制御システムにも大規模なシステム改修を行わずに容易に導入可能
- 脆弱性診断に基づき、制御システム内の最適な場所に設置可能

*2 送信元IPや宛先IP、パケット数、タイムスタンプなどのパケット情報をリアルタイムに分析し、有害通信を遮断する内部IPネットワーク機器

3. 幅広い運用サービスの提供により、事業継続を支援

- サポート窓口によるお問い合わせ対応や、技術者派遣による更新・故障対応、24時間遠隔システム監視サービス、改善提案など幅広い運用サービスを提供し、お客様の事業継続を支援

今後の展開

公共施設やオフィスビル・データセンターなどの他、IoT活用が進む工場にも「OTGUARD®」を提案します。また、日々巧妙化するサイバー攻撃に対応するため「セキュリティースイッチ」の機能改善・強化やサイバーリスク対策技術の向上に取り組み、制御システムのさらなる安定稼働に貢献します。

提供開始の狙い

近年、制御システムへのサイバー攻撃が増加しており、海外では大規模な停電や設備破壊などの被害が発生しています。国内においてもサプライチェーン全体での取り組みとしてセキュリティ強化が課題となっています。

また、経済産業省が開催する「産業サイバーセキュリティ研究会ワーキンググループ1（制度・技術・標準化）ビルサブワーキンググループ」では、ビル施設向けのセキュリティ対策ガイドラインが策定され、サイバー攻撃への対策の必要性がますます高まっています。

当社は今回、外部からだけでなく過失や故意による内部脅威を含めたサイバー攻撃への対策として、制御システムの脆弱性診断から運用サービスまでワンストップで提供するサイバーセキュリティソリューションを提供することで、深刻化する制御システムへのサイバー攻撃に対するセキュリティ対策を支援します。

特長の補足

「OTGUARD®」は、経済産業省が策定した「ビルシステムにおけるサイバー・フィジカル・セキュリティ対策ガイドライン第1版」に準拠しています。

商標関連

「OTGUARD®（オオティガード）」は、三菱電機株式会社の登録商標です。

製品担当

三菱電機株式会社 神戸製作所
〒652-0854 神戸市兵庫区和田崎町一丁目1番2号

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 社会環境事業部 施設環境部
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
TEL 03-3218-3218 FAX 03-3218-4677